

2021年1月12日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

イノベーション京都 2021 (KYOTO-iCAP2 号ファンド) への出資について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）は、次世代の産業育成および本邦経済のグローバルでの競争力強化への貢献を主たる目的として、今般、「イノベーション京都 2021 投資事業有限責任組合」（以下、本ファンド）への出資を決定いたしました。

本ファンドは、国立大学法人京都大学の 100%出資子会社である京都大学イノベーションキャピタル株式会社が運営するファンドです。主に国立大学法人京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業へ投資を行い、成長を支援してまいります。

MUFG は、国内外のネットワークを活かすことで、設立して間もないシード／アーリーステージのベンチャー企業の育成支援をしております。また、国立大学法人京都大学が得意とするバイオ、ライフサイエンス領域、あるいは素材や機械といったディープテック領域のベンチャー企業などへの支援を通じて、イノベティブで世界を大きく変革する可能性のある事業の創生に貢献してまいります。

MUFG は、幅広いネットワークや顧客基盤、高度な金融サービスを活かし、次世代の産業の一翼を担うベンチャー企業に対する安定した支援を継続することで、中長期的な環境・社会課題の解決やお客さまの持続的な成長を後押ししてまいります。

<本ファンドの概要>

名称	イノベーション京都 2021 投資事業有限責任組合
根拠法	産業競争力強化法及び投資事業有限責任組合契約に関する法律
投資先	主に国立大学法人京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業等
出資者	無限責任組合員：京都大学イノベーションキャピタル株式会社 有限責任組合員：国立大学法人京都大学、 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ、 株式会社三井住友銀行、アステラス製薬株式会社、 株式会社京都銀行
出資約束金額	181 億 4000 万円
存続期間	12 年間（5 年間の延長が可能）

以上